

2020 年度活動報告

1. 主要業務日程

2020 年 4 月 1 日	2020 年度後期国際交流助成の募集開始 2020 年度国際会議開催助成の募集開始
4 月 21 日	立石 義雄 当時理事長 逝去
5 月 4 日	第 48 回理事会の開催 ・理事長の選定 石原 英 理事長就任
5 月 12 日	第 49 回理事会の開催 ・2019 年度事業報告並びに決算承認
5 月 20 日	第 6 回 (2020 年度) 立石賞表彰式・記念講演 [延期] 2020 年度助成金贈呈式 [バーチャル形式で開催]
6 月 19 日	第 50 回理事会の開催 ・株主権行使の承認 第 21 回評議員会の開催 ・2019 年度決算承認 ・株主権行使の承認 ・次期理事・監事の選任
6 月 30 日	第 51 回理事会の開催 ・理事長の選定 立石 文雄 理事長就任 ・常務理事の選定 ・2019 年度事業報告に係る内閣府への提出書類の承認 2020 年度後期国際交流助成の募集締切 (応募 7 件) 2020 年度国際会議等開催の募集締切 (応募 21 件)
8 月 1 日	2021 年度研究助成 (S) の募集開始
8 月 28 日	2020 年夏季選考委員会の開催 ・2020 年度後期国際交流助成および国際会議開催助成の選考
9 月 1 日	2021 年度研究助成 (A) (B) (C) の募集開始
9 月 9 日	第 52 回理事会の開催 ・2020 年度後期国際交流助成採択候補の承認 ・2020 年度国際会議開催助成採択候補の承認
9 月 30 日	2021 年度研究助成 (S) の募集締切 (応募 23 件)
10 月 1 日	2021 年度前期国際交流助成の募集開始
10 月 24 日	助成研究成果集第 29 号発行
10 月 31 日	2021 年度研究助成 (A) (B) (C) の募集締切 (応募 154 件)
12 月 20 日	2021 年度前期国際交流助成の募集締切 (応募 1 件)
2021 年 1 月 22 日	2021 年冬季選考委員会の開催 ・2021 年度研究助成 (S) 最終選考 ・2021 年度研究助成 (A) (B) (C), 前期国際交流助成の選考 ・2022 年度各助成募集案内の審議
2 月 9 日	第 53 回理事会の開催 ・2021 年度助成採択候補の承認 ・2022 年度助成公募案内の承認 ・第 7 回 (2022 年度) 立石賞公募案内の承認
3 月 12 日	第 54 回理事会の開催 ・2020 年度事業および決算見込みの報告 ・2021 年度事業計画および予算の承認
3 月 15 日	第 22 回評議員会の開催 ・2020 年度事業および決算見込みの報告 ・2021 年度事業計画および予算の承認

2. 会 計

正味財産増減計算書
2020年4月1日から2021年3月31日まで
(単位：千円)

I 一般正味財産の部	
1. 経常増減の部	
(1) 経常収益	
①基本財産運用益	220,500
②特定資産運用益	13,427
③受取寄附金	500
④雑収入	2,001
(2) 経常費用	
①事業費	230,834
②管理費	11,262
当期経常増減額	△ 5,668
2. 経常外増減の部	
(1) 経常外収益	0
(2) 経常外費用	150
当期経常外増減額	△ 150
当期一般正味財産増減額	△ 5,818
一般正味財産期首残高	17,316
一般正味財産期末残高	11,498
II 指定正味財産増減の部	
当期指定正味財産増減額	7,901,250
指定正味財産期首残高	16,038,750
指定正味財産期末残高	23,940,000
III 正味財産期末残高	23,951,498

貸借対照表
2021年3月31日現在
(単位：千円)

I 資産の部	
1. 流動資産	
現金	61
普通預金	11,437
定期預金	0
2. 固定資産	
(1) 基本財産	
投資有価証券	22,680,000
(2) 特定資産	
事業運営資産合計	1,100,000
事業積立資産合計	160,000
(3) その他の固定資産	0
資産合計	23,951,498
II 負債の部	
1. 流動負債	0
2. 固定負債	0
負債合計	0
III 正味財産の部	
1. 指定正味財産	
寄附金	1,100,000
寄附株式 (オムロン株)	22,680,000
事業積立資産	160,000
2. 一般正味財産	
流動資産, その他固定資産	11,498
正味財産合計	23,951,498

2021 年度助成報告

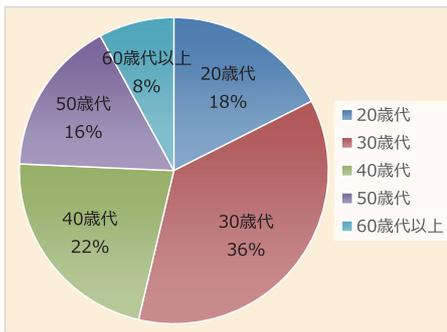
本年度の助成も計画どおり、公募、選考委員会による選考、理事会の承認を経て下表のとおり助成を行うことができました。国際交流助成および国際会議開催助成はコロナ禍による開催形態の変更、開始時期の調整を考慮し助成を行っています。

研究助成 (S)	2 件	60,000 千円
研究助成 (A)	30 件	82,632 千円
研究助成 (B)	4 件	23,377 千円
研究助成 (C)	11 件	14,459 千円
国際交流助成 (前期)	1 件	778 千円
国際交流助成 (後期)	2 件	736 千円
国際会議開催助成	11 件	10,182 千円
合計		192,164 千円

● 2021 年度助成の応募状況

(1) 研究助成 (S) (A) (B) (C)

応募者年齢別割合

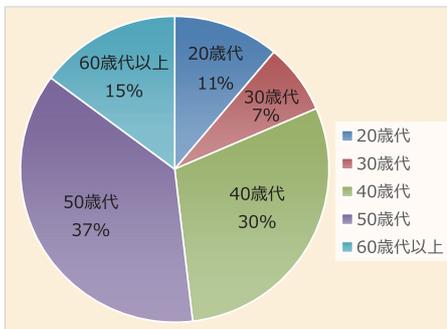


地域別応募件数



(2) 国際会議開催助成・国際交流助成

応募者年齢別割合

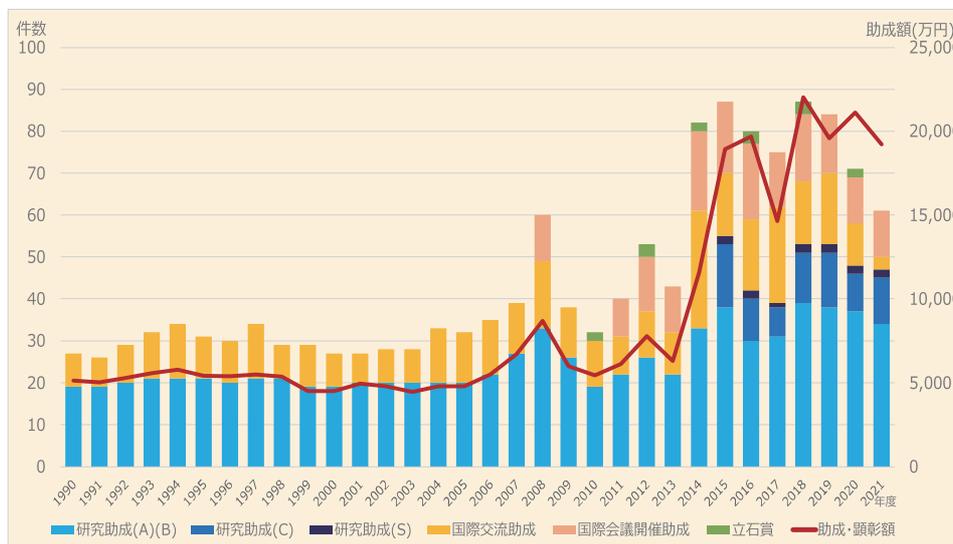


地域別応募件数

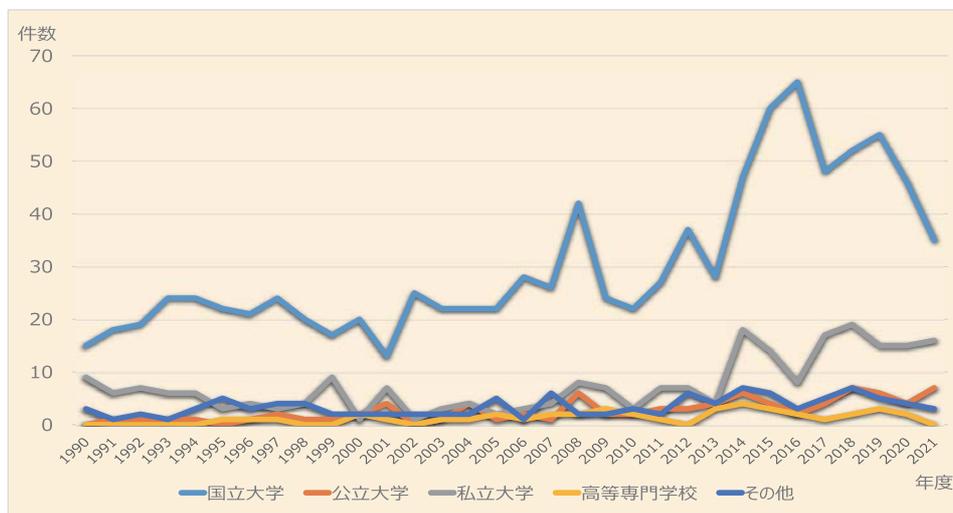


今年度の助成の結果、財団設立以来の助成・顕彰件数は研究助成 888 件、国際交流助成 377 件、国際会議開催助成 163 件、立石賞 15 件、合計 1,443 件、助成・顕彰金総額は 28 億 463 万円となりました。

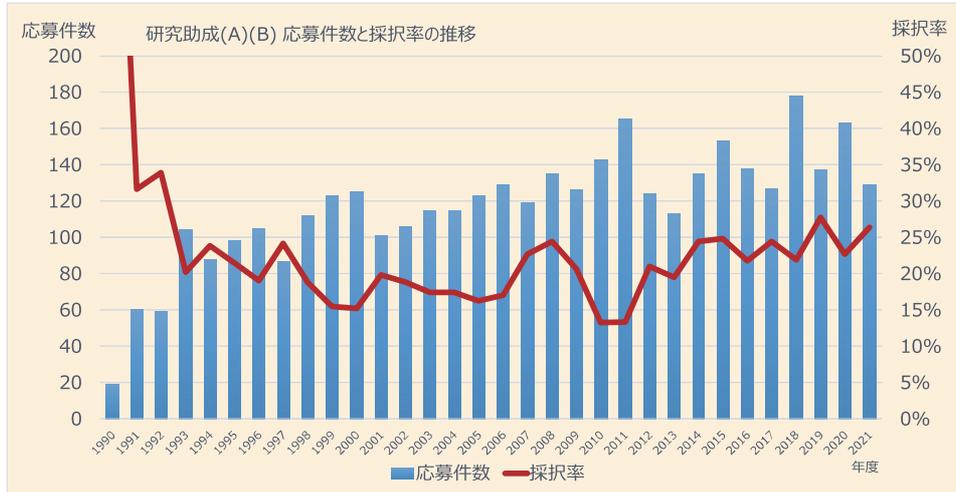
助成・顕彰件数と助成額推移



研究機関別の助成件数の推移



研究助成 応募件数と採択率推移



第6回立石賞表彰式・記念講演および2021年度バーチャル贈呈式

【第6回立石賞表彰式・記念講演】

2021年5月24日から5月31日にかけて「第6回立石賞表彰式・記念講演」をオンラインで開催しました。第6回立石賞表彰式・記念講演は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、特設ホームページからビデオ・オン・デマンド配信による実施としました。当財団としては初めての試みでしたが、学術関係者、財団関連の皆さま方をはじめとする200名を超える参加登録・視聴をいただき盛会のうちに終了しました。



立石理事長あいさつ



阿草選考委員長あいさつ

第6回立石賞は、功績賞として奈良先端科学技術大学院大学 名誉教授の横矢直和氏、特別賞として大阪大学大学院 基礎工学研究科 教授の石黒浩氏の業績に対して授与し表彰を行いました。ビデオ・オン・デマンド配信では、財団代表挨拶、選考委員会代表の挨拶と選考経緯の説明ののち受賞者のコメントを配信。記念講演では、功績賞受賞の横矢氏からは「時空を超える複合現実メディアへの挑戦 ～リアルとバーチャルの融合～」のテーマで、特別賞受賞の石黒氏からは「人と関わるロボットと未来社会」のテーマで研究内容の一端を講演いただきました。また、ご来賓として文部科学省 大臣官房審議官 塩崎正晴様、京都府 副知事 山下晃正様、オムロン株式会社 代表取締役 執行役員専務 CTO 宮田喜一郎様より祝辞を頂戴し紹介させていただきました。



横矢直和氏 講演

「時空を超える複合現実メディアへの挑戦」
～リアルとバーチャルの融合～



石黒 浩氏 講演

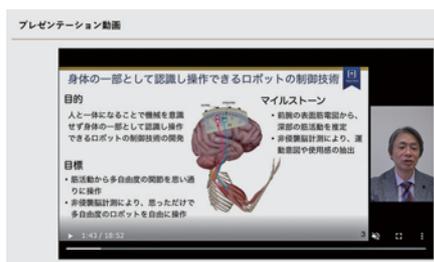
「人と関わるロボットと未来社会」

※立石賞記念講演の内容は、7～17 ページに掲載

【2021 年度バーチャル贈呈式】

例年立石賞表彰式・記念講演と合わせて開催していました助成金贈呈式ですが、2021 年度は立石賞表彰式・記念講演と同様新型コロナウイルス感染拡大防止のため特設ページによるバーチャル贈呈式として開催しました。2021 年 5 月 24 日から 7 月 31 日にかけて、2018 年度研究助成 (S) の成果発表をはじめ、今年度の研究課題を研究者自身による説明動画を掲載し、相互研鑽の一助とすることができました。

[2018 年度研究助成 (S) 成果発表]



東京工業大学 科学技術創成研究院
教授 小池康晴氏

「使い心地を認識し人と一体化するロボット制御技術の開発」
研究期間：2018 年 3 月～2021 年 3 月

※本研究の内容は、30～34 ページに掲載

[2021 年度助成研究課題 抜粋]

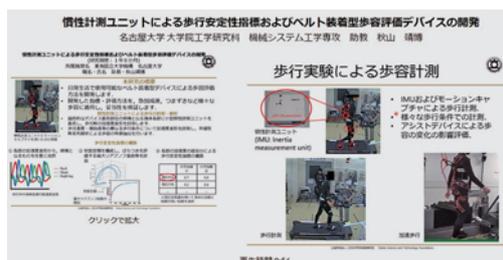
2021 年度研究助成 (S)



株式会社国際電気通信基礎技術研究所 脳情報通信総合研究所
主任研究員 野田智之氏

「解放運動連鎖歩行に外骨格機構と連動して介入する左右分離免荷システムの研究開発」

2021 年度研究助成 (A)



名古屋大学大学院 工学研究科 機械システム工学専攻
助教 秋山靖博氏

「慣性計測ユニットによる歩行安定性指標およびベルト装着型歩容評価デバイスの開発」